

- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げで書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

大川の滝

宮浦小学校 五年 ふじ山 ゆうき

ぼくは、去年大川の滝に行きました。ぼくは、そのとき、車によいやすから車の中で、ねました。ぼくは、おきたら、ちやうどそのときにお父さんが、あつとすこしでつくよ。と言いました。ぼくは、本当。と言つたら、お父さんが

「本当だよ。」  
 と言いました。お兄ちゃんが  
 「あちよとみえた。」  
 と言いました。お母さんは、  
 「本当だ。」  
 と言いました。そのときぼくも、  
 「本当だ。」  
 と言いました。  
 やつとついで、ぼくは、  
 「たしか大川の滝で、ハナハートルあるん

No. 1

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終つたら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げで書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( 月 日 曜日 )

たよね。  
 と言っ、お父さんは、  
 うん、そうだ。  
 と言いました。ぼくは、  
 けしきがいいね。  
 と言いました。お兄ちゃんは、あ、ちこち  
 歩きまわっていたので、ぼくは、  
 「おい、まてよ。」  
 と言っ、お兄ちゃんのところまですぐにいき  
 ました。そして、写真をとりました。かえる  
 ときほ、ぼくは、  
 「本当にきれいだ、たね。」  
 と言っ、お兄ちゃんか、  
 「本当にきれいだ、たね。」  
 同じことを言いました。そして、お母さ  
 んが、  
 「いきび、たし。」  
 と言いました。ぼくは、大川の滝にもういち  
 びいって自然を楽しみうれしくかいたいな  
 と思いました。

(不許複製)

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

